

令和4年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会 議事録

○開催日時：令和4年6月28日（火）午前10時00分から午前11時00分まで

○開催方法：オンライン会議（Zoom）

○出席者

委員：湯谷賢太郎、川口正彦、西本愛奈、今関章、荒木太郎、桑田雅子、藤川美佳

指定管理者：田中涼（センター長）、長嶋宗之

木更津市：篠田市民部長、宗政市民活動支援課長、中野市民活動支援課長補佐、佐久間主任主事

【市民活動支援課：中野補佐】

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今より、令和4年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会を開会いたします。

私は、本日、進行を務めさせていただき、市民活動支援課の中野と申します。よろしくお願いいたします。まず、本日の委員の皆様の出席状況について、ご報告いたします。

鶴岡委員、大坪委員、福原委員の3名から欠席の連絡を受けており、10名中7名が出席しております。次に、Zoomによる開催にあたりまして、発言方法等について、いくつかお願いがございます。可能な限り、カメラをオンに設定していただき、発言時以外は、マイクをミュートに設定していただくようお願いいたします。会議を円滑に進めるため、指名された場合や話の流れにより発言する場合を除いて、発言する際は、「手を挙げる」機能を使用して、発言の意思をお伝えください。発言を終えたら「手を下げる」操作をお願いします。操作の確認につきましては、前回問題ないように見受けられましたので割愛させていただきます。その他、発言者の声が聞こえづらい場合等、なにか不都合がございましたら、その都度申し出ていただくようお願いいたします。それでは、まず、湯谷会長から、ご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

－ 湯谷会長挨拶 －

【市民活動支援課：中野補佐】

ありがとうございました。それでは、次第2について、市民部長の篠田より挨拶をさせていただきます。

－ 篠田部長挨拶 －

【市民活動支援課：中野補佐】

議題に入る前に、4月に委員の変更がございましたので、ご報告させていただきます。木更津市社会福祉協議会からご推薦いただいていた坂本委員の後任として、西本委員の推薦があり、残任期間における委員として委嘱を行いました。それでは、ご就任された西本委員、ご挨拶を

お願いいたします。

－ 西本委員挨拶 －

【市民活動支援課：中野補佐】

ありがとうございました。また、私ども事務局につきまして、4月に人事異動があり、課長の変更がありましたので、ご報告させていただきます。市民活動支援課長の宗政です。なお、私、中野と担当の佐久間に変更はございませんので、引き続き、よろしくお願いいたします。それでは、次第3の議題にはいりますので、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第1項の規定に基づき、湯谷会長に議長を務めていただきます。湯谷会長、よろしくお願いいたします。

【湯谷会長】

議長を務めさせていただく、湯谷でございます。よろしくお願いいたします。なお、本日は、委員の半数以上が出席されているので、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第2項の規定に基づき本運営協議会は成立するものといたします。それでは、本日の議題は、「1 令和3年度事業実績について」、「2 令和4年度事業の取り組み状況について」、「3 施設の移転について」となります。まずは、指定管理者である三幸株式会社南総支店より、議題1、2を一括してご説明をお願いいたします。

【三幸株式会社：田中センター長】

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それでは、令和4年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会の議題資料に沿って報告させていただきます。

まず始めに、令和3年度の事業実績といたしまして、利用者数、相談件数、登録団体数については、下の表をご覧ください。振り返りにつきましては、令和3年度目標値 32,000 人と設定し、実際の利用者数が 11,592 人となっております。令和2年度と比べまして 2,557 人増えましたが、まだまだ目標値には足りていないため、施設としては、そこが課題であると感じています。利用者数がまだ増えていない原因といたしましては、団体、市民の方ともに、コロナ禍での対面による活動や利用に不安を感じられる方がまだ少なくないことと、オンラインや zoom 等の活動が定着しつつありますので、わざわざ施設を利用しなくても活動ができる方が増えてきたことによるのも原因の一つではないかと施設としては、感じております。ただ、コロナの状況が緩和しつつありますので、団体の活動の再開の見通しがあるのかと思います。しかしながら、高齢の方向けや子育て向けの活動をされている団体が私達の施設では、多く登録されておりますので、利用者のことを考えるとまだまだ活動ができないかなと感じている団体も多くいらっしゃると思いますので、そちらの団体に関しましては、一緒にお話しをしていながら、こういった活動で始められるのか一緒に考えていけたらなと当施設としては考えております。また、相談件数と登録団体数につきましては、施設の認知度がまだまだ市民の方たちに伝わっていないかなと施設としての課題と考えておりまして、こちらに関しましては、自主事業、SNS

や発信方法などで施設をより多くの方たちにPRしていき、まず施設に来ていただいて、施設の魅力を知ってもらうところから今年度始めて行こうかと施設としては考えております。続いて、令和3年度自主事業について、ご報告させていただきます。前回の運営協議会でお話させていただいたものが大半ですが、団体向けに団体交流会を実施いたしまして、災害をテーマに実施しました。参加人数は、あまり多くはなかったのですが、今年度は内容や周知の方法を考えながら、より多くの団体に参加していただいて、繋がりやコミュニティをより深めていけるようなことをできたらなと思っております。続きまして、令和4年度事業の取り組み状況について報告させていただきます。取組状況といたしまして、まず、(1)市民活動参加への促進として、1つ目に市民活動への参加や始めることへのハードルを下げる。2つ目に利用者、市民の声を参考とした自主事業の実施を施設として取り組んでいきたいと思っております。今現在施設として取り組んでいる事業としましては、ちょこ活のボランティア先生という自主事業を実施しておりまして、こちらは、市民活動団体としてちょっとまだ活動するのに不安や抵抗感を感じている方が結構いらっしゃるという声を聞きますので、そのきっかけになるようなこととして、施設で全面的にサポートしながら、絵本の読み聞かせや高齢者へのレクリエーション、簡単なものから始めて、まず市民活動への不安なことや抵抗感を少なくしていくところから始めて行きたいなと感じております。もう1つは、不登校の子を対象としたコミュニティカフェの実施予定をしておりまして、こちらは利用者の方からこういったことで悩んでいるが、そういったイベントや企画をしてほしいという声を参考にさせていただきまして、施設の自主事業の一つとして実施を考えております。続いて、(2)施設の認知度向上として、まず1つ目に、メディアを使った認知度の向上、2つ目に、自主事業にあわせた告知と設置場所の改善を重点的に施設としては取り組んでいきたいと思っております。今年度の取り組みとして、6月からになりますが、かずさFMにお声をかけていただいて、月に1回ですが、出演することによって、市民の方々に、施設の良さや団体の周知をしていけたらと思っております。次に子育て支援センターやスポーツジム、介護施設へのイベントチラシの設置につきましては、今まで自主事業を実施していきましたが、参加する人数が少ないことが令和3年度の課題でありましたので、テーマにあった場所に設置の依頼をして、より多くの方に目を留めていただき、参加をしていただけるように、他の施設に設置の場所を増やしていきたいなと思っております。続きまして、(3)市民活動団体の活動再開、継続に向けた支援として、一つ目の登録団体アンケートの実施、二つ目に、団体のスキルアップや交流、つながりを目的とした自主事業の実施を考えております。今年も登録団体アンケートを実施させていただきました。全116団体中74団体回答がありまして、回答率としては、64%となっております。去年が23%と低かったので、今年は団体の再始動の年と施設としても考えており、より声を聴きたいなと思い、質問の内容や前回は返信用の封筒を入れなかったことが回答率の低かった原因でありましたので、今年は、返信用の封筒を同封させていただきまして、登録団体アンケートを実施したところ回答率が少しですがあがったところであります。令和4年度の取り組みにつきまして、ご報告は以上となりますが、私たちがコロナが落ち着いてきましたので、市民活動団体並びに市民の方たちによりよく市民活動を発信できる年ではないかなと考えております。運営協議会の委員の皆様からアドバイスやご指導いただけますと幸いです。この機会に色々なことを教えていただき、アド

バイスいただけるとありがたいなと思います。以上です。ありがとうございました。

【湯谷会長】

ありがとうございました。それでは、指定管理者へ質問やご意見等がありますでしょうか。

すぐには出ないようですので、まず私からお伺いしますが、団体交流会の開催は、曜日とか時間はどうされているのでしょうか。

【三幸株式会社：田中センター長】

団体交流会は去年まで、土曜日・日曜日の午前中に開催しておりました。活動する皆さんの都合が付きやすい曜日が、土曜日・日曜日かと思ひまして、その日程にさせていただいたのですが、やはりそれでも参加者が少ないということで、今年は、曜日であったり時間であったりを改善、検討しながら開催していきたいと考えております。

【湯谷会長】

ここにいる委員の皆様でもいいので、こういった時間が自分は一番都合がいい等ありましたら伝えておくと、もしかしたら参加者が増えていただけるのかなと思いますので、そういった事も是非ご発言いただければと思います。

【川口委員】

私は、別なことで質問ですが、令和3年度事業実績の振り返りと課題について、田中さんより説明があったのですが、私自身が何回かセンターに行っている中で感じたことは、一番の要因は、とにかくコロナで皆さんの活動が変わったということであって、私が理解に苦しんだのは、施設利用に不安を感じる方がまだ少なくないとか、市民の市民活動、ボランティアを始めるためのハードルが高いとかの意見が自分の中ではしっくりこない。私が、センターに行っていることは、とにかくコロナで行く人たちもそうですし、施設そのものもコロナの時期にはやはりクローズしたような状況で、別にここの施設に限った話ではないが、令和2、3年度の稼働率や会議数に結び付いている。他の理由はそれほどに捉えていないのですが、不安を感じる方とか、ハードルが高いなど、田中さんはどのように感じて、書かれていたのかなというのをお聞きしたい。

【三幸株式会社：田中センター長】

ありがとうございます。登録団体アンケートを実施いたしまして、その回答の中に介護施設であったり、子ども向けの読み聞かせやレクリエーションであったりを実施している団体さんから施設を利用することへの不安という回答が多かったです。ただ、個人的には、施設を利用しなくても活動はできると思いますので、私たちの施設を使わなくても活動できるような支援であったりアドバイスであったりを施設として今後していかなければいけないと感じております。ハードルが高いということに関しては、活動してみたい、興味を持っているという意見はいただいているが、活動に繋がることが今までなかったもので、こちらも施設の課題といたしま

して、そういった方たちがどう行ったら活動に繋げていけるのか。また、そういった方たちが、どこに不安を感じて、始めるのにどういうことを思っているのかということ施設として吸い上げて、サポートを今後していけたらなと思っております。

【川口委員】

ありがとうございました。

【藤川委員】

私は、子ども食堂をやっているのですが、子ども食堂自体、コロナ禍では、来る人がすごく多くなりました。全然数が違うくらい増えたのですが、そうするとボランティアで入ってきてくれる人も、絶え間なく、その時だけという場合もあるが、このコロナ禍でもいた。やはり、ボランティアをしたい方は、場所さえあれば、参加してくださる方もいるのかなと思いました。そこをみらいラボさんの方でマッチングしていただければ、すごく動いていくのかなと話しを聞きながら思いました。

【三幸株式会社：田中センター長】

私も藤川さんの子ども食堂とか地域の子供食堂とかの活動には、参加をさせていただいて、やはりボランティアの方で参加される方も多いですし、また、コロナ禍だからこそ問題や地域課題があると思いましたので、そこにマッチングしたボランティアや市民活動に繋げていければなと施設としては思っております。ありがとうございます。

【桑田委員】

昨年度の報告で、市民活動活性化事業として、みらいラボフェスタや無料相談会が挙げられており、確認ですが、去年行われたものは同じように今年も実施する予定かどうか。また、ちょこ活ボランティア先生がとても良い内容だと思いますが、みらいラボで終わってしまうのではなく、どんどん学んだことを地域に出て行って体験していただいて、さらに自主的に各地で活動する人をどんどん増やしていく。やる気のある人を発掘することがとても大事だと思っておりますので、そこらへんを是非考えていただければと思います。

【三幸株式会社：田中センター長】

ありがとうございます。まず一つ目の市民活動活性化事業のことにつきまして、こちら内容の多少変更はさせていただきたいと思っております。やはり参加人数も少なかったこともあり、そもそも市民の方たちがそのことに対して興味関心があるのかどうかということも私たちの中で考えていなく、勝手にテーマを決めてしまった部分もありますので、やはり市民の方、利用者、参加者の方から意見を吸い上げて、その方たちが求めている内容でより多くの人たちに参加していただけるような自主事業としてやっていきたいと思っております。続いて、ちょこ活についてですが、今まだ始めたばかりで、先生として活動されている方が少人数ではあるのですが、その中で参加した方たちや同じ思いを持った方たち同士で、活動団体に向けて

支援し、ちょこ活のボランティア先生同士で団体をつくることで、より良く幅広い市民活動、一つの団体の中でいろんな分野に対して活動できる団体をつくることも今年は考えていきたいと思っております。まだまだ、ちょこ活を始めたばかりで色々と足りない部分はあるかと思いますが、皆さんいいアドバイスがありましたら、今後ともみらいラボに教えてもらえたらありがたいと考えております。

【桑田委員】

ありがとうございます。ポッチャ体験会を昨日されていたり、子育てサロンをされていたり、色々な分野で新しいことをやろうかなと考えていらっしゃることがよく分かって良いなと思っています。是非、それで学んだことを地域でやってみようよという流れにさせていただくと、センターの存在意義があるのかなと思います。また、パソコンや携帯の使い方は、年配の方には周りに教えてくれる方が誰もいないという方が多いので、センターで講座を開いた後、届かない高齢者の方たちにそれを何とか届けるようにさせていただくと良いのかなと思います。以上です。

【荒木委員】

介護福祉チームラボ木更津の荒木です。よろしくお願いいたします。高齢者向けのレクリエーションを見て思いましたが、私たちは、事業を展開している社長たちが集まっている団体であるため、何をやっているかもっと知れば、色々なコラボレーションができるのかなと思っています。そこで市民活動がより広がるのかなという思いもあります。今、Instagramを見させていただいているのですが、基本的に企画のことがあるが、こういう団体があるんだよという情報発信していくことで、逆に知ることができ、コラボするきっかけになるのかなと思っていますので、イベント以外にもこういう団体があるよという情報をInstagramやSNS等でもっと発信していき、もちろん発信するのは大変な事ですりますから、1日1個やるだけでも知ってもらう機会になるのかなと思いました。よろしくお願いいたします。

【三幸株式会社：田中センター長】

荒木さんありがとうございます。その1つとしてかずさFMに出演して、より多くの団体を市民の方たちに知っていただくような取り組みといたしまして、かずさFMにも出演させていただきました。また、やはり施設の団体の紹介が簡易的で、何をやっているのか分かりづらかったため、そこは改善し、荒木さんがおしゃってございましたとおり、より多くの市民の方たちとマッチングできるような環境づくり、施設づくりをしていきたいと思っております。

【湯谷会長】

今の荒木さんのご発言は非常に私も同感です。色々な団体があるよと発信することも1つの市民に対するアピールかなと思います。どんどん勝手に宣伝するくらいでもよいのかもしれないですね。

【川口委員】

先ほど、令和4年度の報告として、ちょこ活ボランティア先生の色々な活動が計画してありましたけど、市民活動支援センターとして取り組んでいくこととすれば、木更津市においては、公民館や図書館の活動として相当に歴史ある活動だと私自身は思っております。市民活動団体登録しているか、していないかは別として、活動団体がある中で、センターとして、何が問題あるいは弱点で、その部分の人材育成を強化しようとするのか。そこは、関係の図書館や公民館の活動の動きを知った上で、取り組んでいただけたらと思います。逆にそういった意味で言いますと、木更津市で例えば、一つの具体的な例としては、協働のまちづくり活動支援事業というものが行われております。その中では、地域の高齢者の生活支援の問題であったり、子供たちの問題であったり、防災の問題であったり色々な取り組みをやろうとしているが、四苦八苦しているというのが現状です。そういう風なことも活動センターとして、相手の団体の中に入って行って、そういう中から何に市民活動として支援できるのか。課題解決があり、そういった糸口をマッチングさせていくようなことにもう少し突っ込んでもらえたらという気持ちがあります。また、木更津市では、男女共同参画の計画が発表されていますが、その中でも市民活動団体なりと、市民活動支援センターとして、関わって活発化していくということも課題にあるのではないかと思います。どこのところを今年度、センターとしてマッチングして、活動として活発化させる若しくは、人材育成をしていくのか、そのところをもう少し突っ込んでみたらどうでしょうか。以上です。

【三幸株式会社：田中センター長】

ありがとうございます。私もまだまだ勉強不足なところもありまして、やはり知識がない分、他の施設に行って担当の方とお話をして、どういった活動をされている団体が多いのか、どういった活動をメインに扱っているのかを私自身把握していかないといけないと思っております。私たちの施設では116団体が登録されていますが、団体の中には、やはり、外に発信を中々できない団体も数多くありますので、またその中でそういった団体と実際地域のために活動している団体を明確に把握し、それぞれにあった支援の方法を施設として考えていかななくてはならないなと思っております。

【桑田委員】

先ほど川口さんがおっしゃったとおり、今の公的な機関がどこらへんまで、何をしているのか把握することも必要だと思いますが、一例のちょこ活で書かれていた、読み聞かせ活動について。本の読み聞かせを私は子供が小さいときに小学校の団体で行っていたが、ただ読み聞かせをすればよいというものではなく、こういうこと一つにしても、やはり講師を図書館の方からお願いして、本の選び方を学ぶこと。そこから繋げて行って、色々なところの図書館で実際に読み聞かせをしてみるとか繋がりを強化しながら、地域に出ていくというやり方をしたら上手くいくのかなと思いました。

【三幸株式会社：田中センター長】

ありがとうございます。そういった意見をいただけるのは、非常にありがたいことです。活動をしていく中で、外に多く発信できるような活動を施設としても増やしていきたいなと思います。ありがとうございます。

【湯谷会長】

私からもう一点ですが、4 ページの団体アンケートに対しての取り組みですけども、「できる限り多くの団体と話し、活動に参加することで団体が何を求め何が課題なのかを一緒に考えていけたらと思います。」と書いてありますが、今の時点で、活動の再開に対してセンターとして、こういった事ができると考えていらっしゃるかなというのが一つお聞きしたい。あと、参加者の方からは是非、藤川さんから、コロナ禍で新しい需要も生まれている話がありましたが、こういった取り組みをしてもらえると活動休止中の団体に非常に良い知恵になるのではないかなというアイデアがあれば是非ご発言いただければと思います。

【三幸株式会社：田中センター長】

ありがとうございます。施設としては、市民活動団体に向けてですが、やはり zoom やオンラインでの活動がメインになりつつあるが、やはり、高齢の方は使い方であったり、操作の方法であったりが、まだまだ分からないという団体の方たちもいらっしゃいますので、ただ活動の幅を広げるという意味でも団体のスキルアップに繋がるような自主事業を施設としては、多く行っていききたいと思います。後は、やはり、何に不安を感じてまた活動の方法とか以外で不安を感じられている団体もいらっしゃると思います。その課題であったり、問題であったりを施設として、活動に参加をし、代表の方と話す中で、吸い上げながら、自主事業や施設の機能として、より良い施設づくりをしていけたらなと思います。

【湯谷会長】

ありがとうございます。委員の方はいかがでしょうか。実際に活動されている方もいらっしゃると思いますので、こんな支援あったら嬉しいなということは何かありますか。

【荒木委員】

僕たちの団体は、元々ラボさんで、月1回ミーティングで使わせていただいたのですが、やはり、コロナ禍で、使わないようにしています。先ほど田中さんが言っていたとおり、zoom の勉強会があるととても嬉しいです。

【湯谷会長】

他の方、他に何かありますか。ご意見等ないようですので、議題3について、市民活動支援課からご説明をお願いいたします。

【市民活動支援課：宗政課長】

市民活動支援課の宗政でございます。私から、議題3 施設の移転について、ご説明いたしま

す。資料の5ページをご覧ください。まず、(1)移転理由について、前回の運営協議会でもご説明いたしましたが、令和7年4月に供用開始を予定している木更津駅周辺庁舎の整備に伴い、現施設が取り壊しとなる予定であることから、この度、当該センターを移転しようとするものでございます。なお、令和7年4月に供用開始を予定している木更津駅周辺庁舎の2・3階に整備を予定している(仮称)駅前交流プラザ内に当該センターを設ける予定であることから、今回の移転は、本移転に向けた、仮移転となります。(2)移転期間については、現在の施設が令和5年4月以降に取り壊される予定であること、また、今年度末をもって現契約が満了となることから、令和5年4月1日から、本移転する2年後の、令和7年3月31日までを予定しております。次に、(3)移転先については、利便性や費用面等を勘案した結果、資料にございます、木更津市中央一丁目4番9号に位置する3階建ての富田屋ビルの1・2階に決定させていただきました。移転先は現施設から約400mの距離に位置し、富士見通りから県道等へ抜けるバス通り沿いで、周辺施設には、千葉信用金庫中央支店や千葉銀行のATMコーナーが設置されている「ひまわり 憩いの広場」がございます。移転先の決定にあたり、利用者の混乱を考慮して、現施設から然程、遠くない場所がよいと考え、木更津駅周辺を中心に、検討いたしました。選定にあたっては、木更津駅周辺の空き物件の現場調査や市が実施している「木更津市空き店舗情報登録制度」の情報をもとに、施設面積や駐車場等の利便性や周辺環境、また賃料や必要となる工事費の費用面などを総合的に勘案し、本物件が最良であると判断いたしました。特に、駐車場については、建物に併設する台数が2台のみのため、周辺民間駐車場を確保する必要がありましたが、建物向かいに位置し、資料の地図では借用駐車場と表記している(株)千葉銀行が所有するコインパーキングを、地域貢献を目的として、無償で借用できることとなったことも、決定する上で大きな理由となりました。次に②の施設の規模ですが、所在地は先程のとおりで、面積については、237.68㎡と現施設の423㎡と比較すると、約4割減となります。施設内容については、これまであった諸室の機能を引き継いでおり、各部屋の面積については、資料のとおりでございます。駐車場については、先程ご説明したとおり、建物併設分が2台、施設向かいの借用分が現在と同様に15台でございます。なお、建物併設の駐車場は、障害者用等駐車場として改修する予定でありますので、1台分の駐車となる見込みでございます。次に、③が移転先の平面図となります。1階にフリースペース、印刷室、事務室、トイレ、2階に、第1会議室、第2会議室、作業室、倉庫を設け、規模は小さくなりますが、現在の機能は引き継げることとなっております。次が、移転先の写真となります。申し訳ございませんが、資料では③写真となっておりますが、正しくは、④写真となりますので、訂正させていただきます。写真の説明ですが、アが建物の外観、イが正面入口を入ってすぐにあるカウンターで事務室となります。ウが1階事務室裏手にあたるスペースでフリースペースとなります。エも同様に、写真の右奥の隅に印刷室を設けます。以降が2階で、オは階段を上った先の廊下、カが第1会議室、キが第2会議室、クが作業室、ケが倉庫とする部屋となります。なお、施設開設までに、スロープやパーテーションの設置などの改修工事を実施し、利用者の皆様が快適にご利用いただけるよう準備してまいります。また、資料にはございませんが、移転に伴い、利用料金の見直しを行いました。庁内の方針に基づき、午前・午後・夜間と分けていた貸出しの時間区分を、1時間単位とし、利用料金の設定にあたっては、現在の利用料金を、全日通して平均した、1

時間当たりの単価を基準に設定いたしました。最後に、移転スケジュールについてでございますが、令和5年4月1日に移転先での開館を予定しており、什器等は、現施設で使用しているものを移転先でも使用いたしますので、事前に移転作業が必要となります。このため、利用者にはご迷惑をおかけしてしまいますが、令和5年3月中旬から、施設の休館を予定しております。なお、その間は、施設の貸出や来館による相談は休止し、電話での相談等のみの業務を行う予定で考えております。周知にあたっては、施設だけでなく、広報等で広く周知し、混乱のないよう努めてまいります。今回の移転に関しての説明は以上となります。最後に、令和7年4月に予定している本移転についてでございますが、先程、申し上げたとおり、令和7年4月に供用開始を予定している木更津駅周辺庁舎の2・3階に整備を予定している（仮称）駅前交流プラザ内に当該センターを設ける予定でございます。整備に向け、今年度から本格的に検討を始めてまいります。整備にあたっては、運営協議会の皆様や利用者のご意見を伺いながら、進めていく考えでおりますので、ご協力をお願いいたします。議題3の説明は以上となります。

【湯谷会長】

ありがとうございました。それでは、質問やご意見等がありますでしょうか。では、まず私から。大規模な改修は難しいと思いますが、バリアフリースペースは難しいですかね。

【市民活動支援課：宗政課長】

こちらの平面図には、写り込んでおりませんが、フリースペースの部分にバリアフリーのトイレを設ける予定でございます。女子トイレが男女共用のバリアフリースペースになります。現施設と同様の設備を予定しております。

【荒木委員】

僕は、車いすをいつも使っている身なので、お気遣いしていただいてありがとうございます。以上です。

【西本委員】

今の施設一階に作業室があり、プライベートなちょっとした空間があって、そこで、相談やプライバシーに配慮したことができる空間があったと思うのですが、スペース上、一階にではなく二階に作業室という形になっているのかと思いますが、一階にもちょっとした区画でも良いので、2、3人程度入られる区切られたスペースみたいなものがあると助かるかなと思いました。以上です。

【市民活動支援課：宗政課長】

ありがとうございます。今回フリースペースが、かなり狭いので、施設にパーティションを設置して区切って行うことは困難ですが、移動式のパーティション等で対応できるのか検討させていただきたいと思います。

【今関委員】

施設の一階の平面図を見させていただきましたが、入り口のドアは、自動ドアでしょうか。

【市民活動支援課：宗政課長】

一階正面入り口は、2層になっており、外側が自動ドア、内側が手動ドアでございます。

【今関委員】

段差がなければ非常に良いと思いますし、フリースペースで、移動式のパーテーションがあれば、汎用性が高いと思いました。

【市民活動支援課：中野補佐】

補足させていただきますと、現施設は、靴を脱ぎ変えてスリッパで上がっていただいていたところですが、ここの施設については、土足のままお入りいただけるようになっております。ただ、二階の作業室が畳の部屋になっておりますので、こちらについては、靴を脱いでいただきますが、原則的には、すべて土足で入っていただく予定です。

【湯谷会長】

ありがとうございます。ご意見等ないようなので、議事を終了いたします。それでは、事務局にお戻しいたします。

【市民活動支援課：中野補佐】

皆様、ありがとうございました。最後に、次第4 その他について、この場で伝えておきたいことなどがございましたら、お願いいたします。

【市民活動支援課：中野補佐】

よろしいでしょうか。

改めまして、皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。次回の日程は未定でございますが、開催にあたっては、日程調整をさせていただきますので引き続きのご協力をお願いいたします。以上をもちまして、令和4年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。各自、ご退室をお願いいたします。